

発行者 一般社団法人 群馬県手をつなぐ育成会
会長 江村 恵子

〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町13-12 群馬県社会福祉総合センター5F
TEL 027-255-6212・FAX 027-255-6241
印刷所 朝日印刷工業(株) ☎ 027-251-1212



開会式

第五十七回群馬県手をつなぐ育成会大会 前橋大会を終えて

前橋市手をつなぐ育成会 会長 塩崎政江

令和四年七月十七日(日) 三年ぶりの県大会を開催することができました。周到に準備してきたにもかかわらず実施できなかった高崎大会、関係の皆様の無念な気持ちをお聞きし、何とか実現できるようにしたいというのが当初の思いでした。

令和三年十月二十日の第一回準備委員会では、「そもそも誰のための、何のための大会なのだろうか」と、県大会の目的を捉え直すことから始めました。知的障害者の啓発の場、彼らの頑張りを披露する場、そして

県内の多くの仲間とのつながりを深める場となるよう、みんなで手をつないで取り組もうと、決意を新たにしました。

【コロナ禍でも実現できる方法の検討】

これまでのような大ホールで大勢を集めての開催は困難と考え、関係者を中心として開催する場を「メイン会場」とし、県内各地域から送受信のできるオンラインで参加する「サテライト会場」を設ける方法を考えました。事業所や学校・家庭からのオンライン参加を可能とし、同時に受信が困難な方はサテライト会場に出向けば参加可能としました。こうしたオンライン開催の設定のために、専門家に委託していただくことを、県の育成会にお願いしました。

また、前橋市では今回の事業に行政として「共催」をしていただきました。前橋サテライト会場の設営や広報活動等に障害福祉課を中心とした大きな協力をいただき、官民協働の事業として進めることができました。

【みんなが主役の前橋大会に】

県大会は「できるだけたくさんの方が主体となって参加できる大会」を目指して検討を進めました。メ

インとなる記念行事は、学校関係者、施設関係者、保護者等により貴重な情報や体験談などを聞けるトークセッションとすること。また、アトラクションは、前橋を中心に活動している「わの会」(WAKU-KAI)にお願いしたいこと。さらに、コロナ禍で学校や事業所の見学も少なくなっている折りから、障害者に関わる施設や活動紹介などを中心とするビデオ制作・放映しようと、委員の意見がまとまりました。

【各班での準備】

『ステージアトラクション班』『トークセッション班』『ビデオ企画班』それぞれが班長を中心に前向きに準備を進めていただきました。そして四月二十二日には実行委員会を立ち上げ、具体的な役割も決めました。

メインとなる「トークセッション」は「障害のある人が幸せに生きるために一緒に乗り越えていこうよ」をテーマに、県教育委員会特別支援教育課の池田克弘課長補佐(学校関係者)、前橋市障害者生活支援センターの齋藤陽一所長(社会福祉関係者)、前橋市手をつなぐ育成会副会長の関口純子さん(保護者)の三名を軸に、まとめ役として全国手をつなぐ育成会連合会の又村あおい氏にお願いすることになりました。

「アトラクション」については、力強いダンス表現の「ODORU-KAI」の踊りの後、健常児と障害者の交流

を願い、「前橋市児童文化センター合唱団」に協演を依頼しました。「フィナーレ」は前橋らしく盛大な「だんべえ踊り」で盛り上げることとし、「だんべえ協会」初め多くの方にお世話になり、実現の運びとなりました。また、放映するビデオは、希望する学校や福祉施設の他、サークル活動や県内の手をつなぐ育成会支部の活動についても紹介することになりました。このように、班別会議では、多くの皆さんの「こうしたい」という思いが出され、本番に向けての準備が進みました。

【県大会本番】

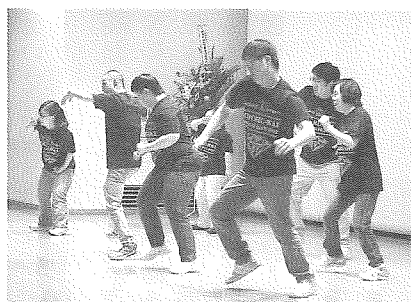
開会式では、永年功労者百五十四名、支部功労者二十八名、特別功労者十名・七団体が表彰され、代表として太田隆也氏に江村会長から感謝状が贈られました。また、前橋市手をつなぐ育成会の森芳子さんが、「学齢期から親亡き後まで世代を超えて支援して欲しい」との意見発表があり、続いて本人の会である「つるの会」の皆さんからの要望も発表していただきました。

開会式の後、双方方向のオンラインで、県内サテライト会場と結びました。高崎や太田からはこれまでの取組も紹介していただき、安中、富岡、渋川や片品からは多くの参加者の皆さんの笑顔を送っていただきました。中でも九十歳の方が楽しそうに手を振ってくださった姿は感動的でもあ

りました。

アトラクションでは「ODORU-KAI」のリズムカルな動きで盛り上がり、「わの会」と「児童文化センター合唱団」の息の合った歌声に「共に生きる」ことの素晴らしさを感じることができました。

お昼の紹介ビデオは、これまで知らなかった施設や学校の活動が効果的に放映され、情報交流の場ともなりました。この映像は、今後の様々



「ODORU-KAI」の踊り



「わの会」と前橋市児童文化センター合唱団の合唱

な場面でも活用できる貴重な宝物となりました。

午後のトークセッションは、学齢期から社会に出る時のつながりの大切さや緊急事態での対応の必要性など、多くの発言と議論をいただきました。又村氏のまとめで、現在と今後の課題について整理でき、すぐに活かせる内容となりました。フィナーレの『だんべえ踊り』では、メイン会場はもちろん、サテライト会場の様子も映し出され、みんなで大いに盛り上がり、一体感のある終末となりました。

【前橋サテライト会場】

前橋プラザ元気21の「にぎわいホール」には、本人や家族、支援



トークセッション

者、学校関係者、行政関係者、市議会議員など様々な方が集まり、貴重な交流の場となりました。一緒にスクリーンを観ながら盛り上がった「だんべえ踊り」を一緒に楽しんだりできました。長時間座っていることが困難な方でも、作品展示を見たり休息所を使用したりと、本人も家族も気楽に参加できた点も効果的でした。

【大会を終えて】

今年度の県大会は、対面と双方方向のオンラインを併用しての開催となりました。主催者発表によるとメイン会場百五十名、サテライト会場三百名、YouTube視聴者二百五十名（配信24時間視聴数）、合計約七百名の参加となり、前回の藤岡大会と同程度の参加者でした。オンラインにより通常であれば参加困難な方も可能となった点は効果的でYouTube配信は大会一か月継続し659回視聴されました、まさに「SDGs」が目指す「誰一人取り残さない」社会に近づいたのではないかと感じます。県大会の準備や運営で、普段交流の少ない様々な方と一緒に活動できたことも、大きな成果でした。今後も、これまでの成果を引き継ぎながら、知的障害者の理解促進と本人の活躍の場となる県大会を継続していただけることをお祈りいたします。

県大会にサテライト会場から

参加して

片品村手をつなぐ親の会 会長 坂西恒喜

この度は、第五十七回群馬県手をつなぐ育成会大会の盛大な開催おめでとうございます。

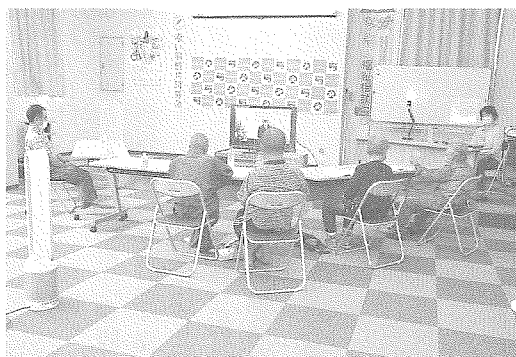
今まで県大会に参加する機会が、なかなかありませんでしたが、今年度は社会福祉協議会の2階にサテライト会場を設けていただき、会員やその家族が参加しました。

昨年、新型コロナウイルスの影響で各種事業が中止になってしまいました。その中でも川場村の親の会との交流会では久しぶりに外出し、ボッチャゲームを楽しみました。他村との交流はとても価値のあることだと感じました。

それを踏まえて七月十七日の県大会ではサテライト会場から参加することになりました。サテライト会場では本会場や他の会場の様子がモニターに映し出され、本会場からの呼びかけに、各会場からははじける笑顔で大きく手を振って応える参加者の様子に感動しました。

本会場とサテライト会場が繋がることで参加者全員が一体となりその空気が大きく膨らみ、本会場に行けない人もこういう形で参加できるとが証明された瞬間でした。

また私ごとではありますが、息子が乳児の時にケガを負い、以来、十二歳までと言われていた命が、様々なことを乗り越えて、現在五十歳を超えました。これまで息子の成長とともに支えてくださった多くの関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



片品村 サテライト会場

第四十九回福祉パレード
知的障害者福祉月間記念行事開催

「知的障害者福祉月間記念行事」として九月十五日に第四十九回福祉パレードを育成会が実行委員会を中心となり、県内各地で開催しました。今年もコロナ禍であったため、開催に当たり代表者会議を六月二十日に開催し各地区の状況を踏まえ、各地区の判断で要請行動や啓発活動を

実施していただくこととしました。

(二) 中央集会 (県庁)

九月十五日午前十一時三十分から県庁三十二階「NETSUGEN」において福祉パレード中央集会が開催されました。今年もコロナ禍を考慮し、県庁でのオンラインを活用した式典となりました。



県庁での式典

川崎副会長の開会のことばに続き、江村会長が知的障害者への理解と支援を求めるメッセージを朗読し、活動紹介として前橋市第二福祉作業所で働いている南雲彩歌さんがオンライン(Zoom)により山本知事へ日々の活動状況や要望を伝えました。

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会の皆様へ

手をつなぐがん保険

(団体総合生活保険)

障がいのある方とご家族をワイドにお守りする保険です

特長1

代理手続き
代理告知が
可能

障がいのある方向けプラン

特長2

告知対象
疾患の緩和

障がいのある方向けプラン

特長3

成年後見
費用を補償

障がいのある方のご家族向けプラン

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介します。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険の愛称です。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は
下記お問い合わせ先(取扱代理店)に
資料請求をお待ちしております。

[お問い合わせ先取扱代理店]

ぜんち共済株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5
九段北325ビル4階

0120-322-150

TEL: 03-6910-0850 FAX: 03-6910-0851

URL: <http://www.z-kyosai.com/>MAIL: gan@z-kyosai.com

(営業時間 平日9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

東京海上日動火災保険株式会社

公務第一東京公務課

〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4

TEL: 03-3515-4126(営業時間: 平日9:00~17:00)

2022年5月作成
22-TC00935



記念品の贈呈

その後、各団体の代表者が山本県知事、星名県議会議長、平田県教育長様にメッセージと併せて前橋市福祉作業所で作られた「そば殻枕」などの製作品を贈呈し、温かい励ましの言葉をいただきました。



Zoomによる知事との対話



安中市でのメッセージ伝達

九月十五日、高崎市、藤岡市、富岡市、安中市、下仁田町、南牧村、甘楽町、神流町において首長、議長、教育長様にメッセージを伝達し記念品を贈呈。上野村では、社会福祉協議会長様等に伝達し、その模様をC

○西毛地区

撮影しYouTubeへ配信。

最後に八高副会長より閉会のことが述べられ中央集会が終了しました。

(二)各地区の実施結果

○中毛地区A班

九月十五日、前橋市役所玄関前において前橋市長、前橋市議会議長、前橋市教育長様のご出席の下、メッセージの朗読、記念品の贈呈を行うとともに啓発活動として、市役所ロビーで作品展を実施。式典の模様を撮影しYouTubeへ配信。

○北毛地区

ATVで放映。

・渋川地区

啓発品(除菌ウェットティッシュ)を関係団体に配布。

・利根沼田地区

九月十五日、管内全市町村において首長、議長、教育長様に花束とともにメッセージを伝達し、記念品を贈呈。

・吾妻地区

九月十五日、管内全町村において首長、議長、教育長様にメッセージを伝達し、記念品を贈呈。

○東毛地区

・太田・大泉地区

太田市、大泉町の関係機関の窓口で啓発活動として携帯用除菌ティッシュを配置し来訪者に配布。

・桐生・みどり地区

啓発活動としてポスターを桐生市役所、笠懸庁舎、大間々庁舎、桐生市協、公民館などに掲示し、桐生市役所、笠懸庁舎、大間々庁舎、桐生市協において啓発品(ケース入りマスク)を配布。

・館林・邑楽地区

管内の首長様あてメッセージを進上。館林市長様には直接伝達し懇談を実施。広報啓発としてポケットティッシュを各市町に配布。

知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援

●就労に関する相談支援

●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

病気で死亡したとき
疾病葬費用保険金

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金
(火災・噴火・津波によるケガも対象)

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事中事故対応費用補償

※上記は概要です。詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11

新宿三井ビル2号館2F

TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo

東京第二プロチャネル営業部

〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階

TEL: 03-6894-9110

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人 群馬県知的障害児者生活サポート協会

〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町13番12号

群馬県社会福祉センター5階

TEL: 027-288-0120 FAX: 027-288-0121

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

http://www.gunsapo.jp/

2021年12月現在の内容です。(D-005642 2023-03)